

会 議 録

会議名 (審議会等 名)	第47回相模原市地域包括支援センター運営協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課 電話042-769-9231 (直通)		
開催日時	令和8年1月22日(木) 10時00分～		
開催場所	総合保健医療センター A館7階 視聴覚室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	17人(地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長、他15人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	1 あいさつ 2 地域包括支援センター運営協議会 会長選出 3 議題 (1) 全国統一評価指標による地域包括支援センターの事業評価について (2) 次期地域包括支援センター運営法人の公募について (3) 第10期相模原市高齢者保健福祉計画の策定スケジュールについて (4) 市域レベルの課題検討(担い手の確保・発掘)について (5) 地域包括支援センター移転の取扱いについて 4 その他		

審 議 経 過

1 あいさつ

地域包括ケア推進部長 開催挨拶

2 地域包括支援センター運営協議会 会長選出

相模原市医師会 廣瀬委員 会長就任。会長より挨拶。

3 議題

事務局より、資料に基づき説明を行った。

(1) 全国統一評価指標による地域包括支援センターの事業評価について

【主な意見】

質問なし。

(2) 次期地域包括支援センター運営法人の公募について

【主な意見】

(坂本委員)

・地域包括支援センターは地区社会福祉協議会等の地域団体と密接に連携していることから、専門的な評価項目に加え、地域における貢献度や関係性等について、地域団体の意見を参考として評価委員会に提供する仕組みを検討できないか。

(事務局)

・地域包括支援センターが地域に根ざして活動していることは認識しており、地域の意見は重要であると考えている。しかしながら、公募においては新規参入事業者も対象となるため、既存センターが有利となるような評価方法は、公平性の観点から採用することは困難である。地域からの意見については、評価への直接反映は難しいが、今後の指導・育成等の参考として共有し、活用していきたいと考えている。

(坂口委員)

・提案審査項目において、事業内容よりも運営体制に関する配点の比重が大きいが、この配点は市独自のものか、それとも国の基準に基づくものか。

(事務局)

・配点は国の基準によるものではなく、市独自に設定しているものである。
なお、現在示している配点は前回のものであり、今後募集要項の検討を進める中で、配点については変更する可能性があるものである。

(廣瀬会長)

地域での活動状況については、組織としての評価と個人としての評価の切り分けが難しく、

定量的な評価は困難な側面もあるが、地域の意見を参考に進めていく。

(3) 第10期相模原市高齢者保健福祉計画の策定スケジュールについて

【主な意見】

(小林委員)

地域づくり部会について、これまでの取組により一定の成果は得られているものの、会議体の重複や運営の効率性、構成団体及び活動費のあり方等の課題も指摘されていることから、これまでの取組を検証し、今後の会議体のあり方を見直した上で次期計画に反映すべきではないか。

(4) 市域レベルの課題検討（担い手の確保・発掘）について

【主な意見】

(坂本委員)

・家族介護者の身体的・精神的負担は大きく、介護される側への支援に比べ、介護する側への支援は十分とはいえないことから、家族介護者への経済的支援等の施策について検討する必要がある。

・担い手不足の状況を踏まえ、家族介護者も重要な担い手として位置付け、その支援を通じて担い手の確保につなげる視点が必要ではないか。

(小林委員)

・地域活動の担い手不足の一因として、地域活動に参加したい意向があっても参加方法や情報が不足していることが挙げられることから、担い手のニーズを把握し、適切なマッチングを行うことが重要である。

・地域資源のデータベース化、メニュー化などを行うことで、担い手不足の解消、ニーズ・支え手にあった事業が展開できると思う。

(坂口委員)

・生活支援コーディネーターによる地域資源の把握や活動空白地域への働きかけは有効な取組であり、今後も推進すべきである。

・いきいき百歳体操の参加者など元気な高齢者を地域の担い手として活用することも有効であるとの意見があった。

(内藤委員)

・要介護状態となった後も地域活動への参加意欲を持つ高齢者は多いが、移動手段の不足等により参加が困難となっていることから、移動支援等の環境整備が必要である。

・シルバー人材センターについては、マッチングに時間を要している現状があることから、

調整体制の強化等により、より円滑に活用できる仕組みが必要である。

(廣瀬会長)

- ・高齢者の状態に応じて必要な支援や担い手の役割は異なることから、元気な高齢者、フレイル状態の高齢者及び要介護者等、それぞれの段階に応じた担い手の確保及び支援の仕組みを検討する必要があるとの意見があった。
- ・高齢者の社会参加を促進するため、就労支援や移動支援等を含めたマッチング体制の整備が重要であるとの意見があった。

(坂口委員)

- ・短期集中予防サービス終了後に自立した者を地域の担い手として活用する仕組みを構築することが有効である。

(事務局)

- ・生活支援体制整備事業は10年目を迎え、生活支援コーディネーターの活動により、百歳体操やシニアサポートなどの地域活動が創出されてきたところであり、これらの成果を評価しつつ、今後も新たな担い手の発掘に取り組んでいく考えである。
- ・光が丘地域づくり部会から提出された提案書については、課題及び解決方法について更なる検討を依頼し、再度提案を受けることとなったため、報告事項としたものである。

(5) 地域包括支援センター移転の取扱いについて

【主な意見】

質問なし。

4 その他

清新包括支援センター移転について（報告）

意見等なし。

以 上

相模原市保健医療審議会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠
1	石井 和子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
2	石川 寿美子	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
3	梶山 和美	神奈川県看護協会		欠席
4	小林 輝明	相模原市社会福祉協議会		出席
5	坂口 芳郎	公募市民		出席
6	坂本 洋三	相模原市22地区社会福祉協議会		出席
7	佐々木 美保	相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
8	佐藤 金男	相模原市自治会連合会		出席
9	澤田 弘之	相模原市薬剤師会		出席
10	田中 雄一郎	相模原市歯科医師会		欠席
11	谷 樹人	神奈川県弁護士会		出席
12	徳田 富美子	友知草の会		欠席
13	内藤 優子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
14	畠山 秀美	相模原市老人クラブ連合会		出席
15	久松 信夫	学識経験者(桜美林大学)	副会長	出席
16	廣瀬 憲一	相模原市医師会	会長	出席
17	布施 寛	日本公認会計士協会神奈川県会		出席
18	前田 京美	神奈川県社会福祉士会相模原支部		出席
19	松崎 貴義	公募市民		出席
20	渡辺 真由美	公募市民		出席